

第3号様式（第15条、第17条、第18条関係）

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更						
(宛先) 京都府知事		令和 2年 9月 30日						
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 DNPテクノバック 取締役社長 鈴木 康仁 電話 050 - 3170 - 3190						
主たる業種	印刷業(紙以外の印刷業)	細分類番号	1 5 1 3					
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで							
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度までに温室効果ガス排出量を2015年度比25%削減する。 2020年度までにエネルギー使用量原単位を2015年度比10%削減する。 							
計画を推進するための体制	DNPグループ環境委員会(包装グループ環境委員会)において温室効果ガス排出量削減の実行計画に基づき進捗管理を行う。							
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (29~1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率		
	事業活動に伴う排出の量	49,137.4 トン	48,623.3 トン	63,916.5 トン	56,465.8 トン	14.7	パーセント	
	評価の対象となる排出の量	50,504.4 トン	48,623.3 トン	63,916.5 トン	56,465.8 トン	11.6	パーセント	
	目標の根拠	令和2年度から3年度にかけて製造拠点の集約を行うが過渡期となる為、エネルギー使用量は増加で見込む。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率	
	工場	事業活動に伴う排出の量 (生産金額[百万円])	2.73	2.56	3.36	2.61	4.15	パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()						パーセント
	原単位の指標及び目標の根拠	エネルギー使用の合理化に関する法律で努力目標として定められている年平均1%以上の原単位を低減する。(製造拠点の過渡期除く)						
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
		96.0	100.0	100.0	100.0			
具体的な取組及び措置の内容	(2)年度	①機器の適正な運用管理、②老朽化設備の更新、③高効率機器の導入、④生産拠点の集約(段階的に実施)						
	(3)年度	①機器の適正な運用管理、②老朽化設備の更新、③高効率機器の導入、④生産拠点の集約(完結)						
	(4)年度	①機器の適正な運用管理、②老朽化設備の更新、③高効率機器の導入						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	自動車による通勤は許可制として許可証を発行。それ以外については社バスや公共機関による通勤。						
	上記の措置を採用する理由	許可制とすることで台数を制限。						
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考			
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 「DOYOUKYOTOプロジェクト」ライトダウンの実行 嵐山的美観保護の為にクリーンキャンペーン実施 							
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電導入実績(年間発電量実績:14,632kWh)。 取締役社長 鈴木康仁の委任(委任状提出)を受け工場長の水野登志一が提出いたします。 							

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

注5 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。